一所懸命まちづくり予算を審議

一般会計予算を可決

大船駅東口市街地再開発事業特別会計予算を否決

二月二十二日の本会議において、市長から平成十九年度の市政運営に対する所信と施策の概要説明が行われ、「一所懸命まちづくり予算」と銘打った平成十九年度予算案が提案されました。

提出された議案は、一般会計予算など十七議案で、その予算規模は、一般会計は五百四十九億四千百万円（前年度対比一・一％増）で、特別会計は下水道事業、大船駅東口市街地再開発事業、国民健康保険事業、老人保健医療事業、公共用地先行取得事業、介護保険事業の六特別会計の合計で五百三十億八千二百六十万円（前年度対比一・一％増）であり、一般会計と特別会計を合わせた予算総額は一千八十億二千三百六十万円（前年度対比一・一％増）でした。

予算特別委員会の設置

二月二十七日・二十八日の本会議において、新年度予算等に対する各会派からの代表質問が行われた後、委員十名からなる平成十九年度一般会計予算等審査特別委員会（以下、「予算特別委員会」という）を設置し、平成十九年度予算など十一議案の審査を付託しました。

平成19年度予算等審査特別委員会審査風景

予算審査の着目点

予算特別委員会では、市長が所信表明で述べている「一所懸命まちづくり予算」の内容はどのようなものか、限られた財源の中で、第三次総合計画第二期基本計画前期実施計画に位置づけられた諸事業を初め、市民生活に密着した事業や重点的かつ政策的な課題・施策が、どのように予算に盛り込まれているか、その優先度や緊急度などの点に着目し審査しました。

担当原局・理事者への質疑

予算特別委員会では、三月五日から十三日まで、担当原局に対する質疑を通じ、今後取り組むべき諸課題について、その対応の方策や方向性を検証しました。

また、十四日から二十日までは、重要な施策について、理事者質疑を行い、その見解をただしました。

理事者質疑の項目は次のとおりです。

【一般会計】

●労働費

①労働費について

●農林水産業費

①市民農園用地の塩漬けの土地について

●土木費

①都市景観の保全について

②岡本二丁目の緑地保全推進地区の拡大の提案について

③市街化調整区域内農地における農地法及び都市計画法違反について

④岡本二丁目マンション問題について

●教育費

①小・中学校のコンピューターのリース契約について

②教育への信頼回復に向けての取り組みについて

③子供の人権を守るための具体策について

【大船駅東口市街地再開発事業特別会計】

①高さ九十メートル、奥行き十二メートルのぺらぺらビルについて

②大船駅東口再開発について

【歳入】

①市税収入について

一般会計予算案の訂正

三月二十二日、市長から平成十九年度鎌倉市一般会計予算の原案を訂正したい旨の通知があり、本会議においてこれを承認しました。

その内容は、小・中学校に導入しているパソコンの基本ソフトのアップグレードを図る経費を追加するため、歳出予算のうち、教育費を百万円増額し、予備費を百万円減額しようとするものです。

予算特別委員会で採決

予算特別委員会では、同日、訂正部分について審査を行い、その後、付託を受けている平成十九年度一般会計予算など十一議案を採決しました。

その結果、一般会計予算を初めとする十議案については原案のとおり可決、大船駅東口市街地再開発事業特別会計予算議案については否決すべきものと決しました。

予算特別委員長から本会議に審査結果を報告

三月二十八日の本会議において、予算特別委員長から、委員会における審査結果が報告され、次の四項目について意見が付されました。

●まちづくり条例等の見直しについて

●市街化調整区域内農地における農地法及び都市計画法違反について

●岡本二丁目マンション問題について

●子供の人権について

本会議において議決

委員長報告の後、共産、同志、ネット、公明、民主の各会派から、討論として議案に対する賛否の意見が表明されました。

その後、採決を行い、一般会計予算、下水道事業特別会計予算、老人保健医療事業特別会計予算及び二件の条例関係議案を多数の賛成により可決、国民健康保険事業特別会計予算、公共用地先行取得事業特別会計予算、介護保険事業特別会計予算及び四件の条例関係議案を総員の賛成により可決、大船駅東口市街地再開発事業特別会計予算については、可否同数となり、議長裁決により否決しました。

平成19年度一般会計予算本会議採決風景

予算等審査特別委員会委員

委員長	山田直人（民主党鎌倉市議会議員団）
副委員長	赤松正博（日本共産党鎌倉市議会議員団）
委員	早稲田夕季（民主党鎌倉市議会議員団）
〃	萩原栄枝（神奈川ネットワーク運動・鎌倉）
〃	本田達也（自由民主倶楽部）
〃	野村修平（鎌倉同志会）
〃	三輪裕美子（神奈川ネットワーク運動・鎌倉）
〃	高野洋一（日本共産党鎌倉市議会議員団）
〃	伊東正博（鎌倉同志会）
〃	藤田紀子（公明党鎌倉市議会議員団）

議決した条例関係議案

（仮称）深沢地域福祉センター関連の条例などを可決

今定例会では、市長から条例の制定議案が四件、条例の一部改正議案が九件提出され、議会では、十件を総員の賛成により、三件を多数の賛成により可決しました。

主な議案の内容は次のとおりです。

◎鎌倉市常勤特別職職員の給与に関する条例の臨時特例に関する条例の制定について

神奈川県開発審査会から本市が行った開発行為の許可処分を取り消す裁決を受けたことで、市政の混乱を招いた責任を明らかにするため、特例として市長及び助役の給料を減額しようとするものです。議会では総員の賛成によりこれを可決しました。

◎鎌倉市障害児活動支援センター条例の制定について

梶原二丁目に建設中の複合施設「（仮称）深沢地域福祉センター」の四階部分に障害児活動支援センターを設置しようとするものです。議会では総員の賛成によりこれを可決しました。

◎鎌倉市子育て支援センター条例の一部を改正する条例の制定について

「（仮称）深沢地域福祉センター」の三階部分に子育て支援センターを設置することに伴い、名称及び所在地を追加しようとするものです。議会では総員の賛成によりこれを可決しました。

◎鎌倉市保育所設置条例の一部を改正する条例の制定について

「（仮称）深沢地域福祉センター」の一階、二階及び三階の一部分に深沢保育園を移転することに伴い、所在地を変更しようとするものです。議会では総員の賛成によりこれを可決しました。

◎鎌倉市手数料条例の一部を改正する条例の制定について

建築基準法の一部改正に伴い、構造計算適合性判定業務に係る手数料の規定を整備するほか、市の機構見直しに伴い、規定の整備を行おうとするものです。議会では総員の賛成によりこれを可決しました。

◎鎌倉市廃棄物の減量化、資源化及び処理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

手数料の適正化を図るため、一般廃棄物処理手数料を改正するとともに、市民の利便性及び作業の効率化を図るため、粗大ごみ収集に手数料の事前納付ができるシール制を導入しようとするものです。議会では多数の賛成によりこれを可決しました。

（仮称）深沢地域福祉センター完成予想図